

もくじ

- ・ うりこひめとあまんじゃく

うりこひめ

と

あまんじゃく

げんさく 原作：にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト： kotokoto

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

むかしむかし、あるところに、おじいさんと
おばあさんが住すんでいました。

ある日、おばあさんが川かわで洗濯せんたくをしていると、
川上かわかみから大きな『うり』が、ぷっかぷっかと流ながれて
きました。

「おやまあ、なんて見事みごとなうりでしょう。持もって帰かえっ
て、おじいさんと一いっしょ緒たに食べましょうかね」

おばあさんは、その大おおきなうりを家いえに持もって帰かえり
ました。



5

おばあさんは家に着くと、さっそくうりをまな板いたに
おお置いて、その上うえにほうちょうをああ当てました。

するとなぜか、まだ切きっていないのに、うりが
ひとりではぱかっわと割れて、中なかからかわいらしい女おんなの
あかあかぼうぼうでで出てきたのです。

おばあさんはびっくりぎょうてん。二人ふたりの家いえには
ここどもがいなかったので、おばあさんはおじいさんと
そうだそうだんんして、あかあかぼうぼうをこの家いえでそだそだてることにしました。

おんなおんなここの子は、うりからう生まれたので『うりこひめ』と
ななづづけられました。

